

# 大野木グラウンドワークだより

平成 22 年 9 月 30 日 発行 NO 47 発行責任者 藤田 博、伊藤 晋

9 月 9 日 NHK6 時のニュースで「カシノナガキクイムシ」のこと

雄が出すフェロモンで雌を呼び込む、樹木は防衛手段として水の吸い上げを止めるという結果として木が枯れていくことに、すでに 261 府県に拡大、山形では 17 万 2 千本の被害樹木医によると直径 2 ミリの穴に入り込む、木屑が出て根元に虫の糞が、発生メカニズムははっきりしていない、ブナ科の樹木に入るとのこと、今のところ木を伐採して消毒するくらいことしか方法がないと～

この情報からすると観察デッキの大木に当面うつ手はなさそうで少しそれこそ観察するしかないのかも

9 月 12 日村居田・臥龍公園へ出陣

朝 5 時起床、タンクに水を入れ軽トラにコンロ、椅子、バケツ、冷茶の積み込み

7 時公民館に幸子さん、愛代さん、佳子さん、スミコさん、八重子さん、紀美子さん、茂登子さん、光子さんの 8 人が集合

「大さじ二杯」「パウダー」「卵」と順番に塩が少々、勝巳さんと時計をチェック、バターを入れて混ぜてこねること、コンロ 3 台 揚げのスタンバイ 20g「はかり」を取りに朝早くからものすごい勢いで作業が進んでいきます。

筆立て 200 円、たわし二個 150 円、ドーナツ 100 円、麦茶はサービス、コーヒー、ジュース 100 円

練りやさんに勝巳さんと義弘さんが加わりドーンとボールに投げ込む音が響いて、ガスに火がつきいよいよドーナツ揚げが始まったのが 7 時 45 分

8 時には政所夢塾公園の収納小屋から屋台を出すことになっており、この時間帯のせわしなさ、女性陣は元気そのもの常に笑い声が絶えません、いいですね共同作業は

8 時には黎治、照寿、勝巳、義弘、博の 5 人で屋台を積み込みそのまま臥龍公園へ

すでに各店が準備中、直ちに入ってすぐのメイン位置を確保できました、ラッキー。

早速セッティングあちこちに顔見知りがおられて、あいさつを交わしつつ汗をかきつつ何とかスタンバイ OK 9 時 35 分

値札は義弘さんが書いてくれて開会行事のあいさつ、経過報告が延々と続いており陽の光は強くなり観客はどんどん増えてくる。今日もこれは暑いぞ、携帯連絡では女性陣は既に公民館を出発したとのこと。

まもなく到着、すぐさま店開きのレイアウト、両替、おつりの準備、

「冷たいお茶は無料です」「どうぞ」次々お客さんが

こどもたち杏香、ひまり、きらり、実乃里ちゃんの4人が応援についてきた、一段とムードが高まり、他の店は全部テントそれに比べ我が屋台はすだれ作り風情はNO1です。

売り上げは順調、横山ハイキングには小澤夫妻、茂登子さん、愛代さんとこどもたちが挑戦、貉ステージでは若者がバンドを奇声とドラムが高くて正面ですから、良い場所を確保したためバンドの音をまともに受けることに

ドーナツはすごい売れ行きで11時半には完売となりました。

ハイキングは100人くらいで上でこどもたちは水分補給にどこかのご婦人にナシをいただいたそうで良かったね～その方にお礼を言いたくて探していましたが人が多くてなかなか見つかりません。

「お弁当頼むは」と杖をついた3人組が元気に帰ってきました。

時折涼しい一陣の風が吹き抜けていきます

午後にはくもり模様になってきて

こどもたちはおにぎりの「売り子」に

そして「おにぎりも売り切れごめんなさい」

それから「何あれ、へんなおじさん」と水野さんのヒゲおやじはどこでも人気もの

「大野木は屋台で全国を回るのか」と屋台は大うけでした

さっさと行ってさっさと引き上げてきました。14時過ぎには公民館に帰着

ここで突然ですが、

恐るべき県内に鹿が二万六千頭、年間被害額は一億円を超えるとか

で、ことしも「わな猟」試験に5名の方々が挑戦してくれて見事全員合格でした。

11月からお願いしますよ～鹿退治を

9月20日朝雨が少しありましたが、8時過ぎには上がってまずは草刈りをして本日竹切りのベースを作って・・・藪蚊の襲撃を受けてそれで炎を上げて煙作戦をとりつつ作業段取りを決めていき、長さ12m余の太い竹がどんどん切り倒されていきます。お互い声を掛け合い安全確認をしつつ作業、何しろチェーンソー2台で切っていくがその先の切り離し運搬整理の方が暑くて大変です。

少しずつジャングルが開けてきて、しかし、奥にはまだまだコスモスと竹と火のコントラスト、エンジン音と竹がはじける音、「倒れるよ」の掛け声 静かな森に竹が燃えてパーンパーンという音が間断なく響いています。「いくよー」の声と同時に長い竹がじわーとしかし加速度的に倒れてきます。どんどん作業効率も上がってきました。

そこへ水分補給のためスミコさんと光子さんが差し入れにファイヤーサークルでの竹焼却処分のお礼として徳願寺さんからお菓子セットの差し入れをいただきました。それに八重子さんから本山と比叡山参りのお土産をいただきましたが、山道歩きは大変だったそうです。

政所川堤防道路が作業現場となり倒れてくる竹の処分、先のさばき、焼却、積み込みとこれはきつい作業、休憩、休憩 水分補給しないとこっちが倒れそうで60本は切れていません。

竹は倒しても後の「しょうやく」に手間がかかります、先をはねて、途中を払い、大方の寸法に揃えて積み込み。しかも先は開いていますから「こだねて」燃やすことに、あちこちにツルが巻いているもの、曲がっているもの、太さもいろいろ、持ちまわしに太いものは二人がかりでないと腰をいわしてしまいます。

11時を過ぎると、どーっと疲労が出てきて再度水分補給をして最終ラウンドへ稔さん、勝巳さんが全体の見場を揃えて、倒れているもの、枯れているもの、曲がりのものの整理をしてくれてすかつきました。

達夫さん、黎治さん、照寿さんの三人が根気に引き出してきて隆俊さんと義弘さんがそれを整理してくれて流れ作業で大汗です。まだまだ奥行きは竹、竹状態ですが、それなりに本日のところ整理ができました。

夏日となり一同汗だくです。でも昼食は冷房が入ったクラブでご馳走が並んでいてみんなの笑顔がひろがりました。今日は営農グループの方が取り入れ真っ最中ということで不参加ですが、17名のメンバーがそれぞれにがんばっていただきました。

お疲れ様でした。

昼食後は

臥龍公園でのこと

ボランティアのこと

今年の暑さのこと

ぶどうのこと

カレーは食べ過ぎること

26日フェスタのこと

ドーナツのこと

10月18日前日準備 女性陣は午後集合のこと、男性は朝から段取りをとということで

10月19日(火) 29+4+20=53 中学生は軍手、水筒の用意を、雨ならワークショップ

のれんのこと

足湯、たまり場のこと

笑いが笑いと呼んで楽しい昼食会でした。

#### 9月26日 東草野小中学校甲津原分校 「田舎暮らしフェスタ2010」ブースに出展

快晴：小澤八重子さん、勝巳さん、伊藤紀美子さん、水野スミコさん、義弘さん、水野照寿さん、森田愛代さん、吉田佳子さん、稔さん、藤田洋子さん、光子、博の12人

女性7時からドーナツ、おにぎりづくり9時出発

体育館のコーナーに店開き～おにぎり、ドーナツ、ししとうのみそだき、大根うま煮、うりの粕付け、枝豆、きゅうりのカラシ付け、ゴーヤ、おなす、ピーマン、トウガラシ、梅干、ペンたて、たわし、コースター、紙コマ、紙手裏剣、お茶と多様なサービス品がずらりと

お隣は慶応大学研究室(建築)、杉野川地域づくり協議会(山野草と米)、芸術村 IN 余呉、フラワーワールド MIKU、東草野まちづくり懇話会、姉川せせらぎ懇話会、上丹生プロジェクトKなどなど

お客さんはぼちぼちですが他のお店を見て回り、湖北古民家再生ネットワークの情報も気になり、昼ごはんは女性陣が用意してくれたおにぎりと栗ご飯をいただきました。

サービスの紙コマをもらった女の子が二つを一緒に回して得意げにおじいちゃんにアピールしている

新江州の森会長が見え、副市長が我がスタッフと一緒に食事、大津から滋賀県産業支援プラザの西岡部長がきている、目が合っただけで挨拶～地域資源を活用した新商品、新サービスの

芽を探しにきたという、さすが県北のこの地までアンテナを伸ばしているのかと感心。

12.30 には嘉田知事も来場さすがあちこちに愛嬌を振りまいて大変、我がコーナーでは愛代さんが上手に説明いただき、知事は義弘さんに「女性を大事にしてくださいね」と注文

13 時からは屋外会場で「田舎暮らしフェスタ」の式典。実行委員会、副市長の挨拶のあと、知事はアメリカ留学の体験から「アメリカ文明はもたない、甲津原は石油がなくてもいけること、衣食住が足りてるのが山の暮らしであり、今ライフスタイルを変える共生が必要であります。今日ブースに出展されておられる方々は既にこのことを実行されているのであって、県も皆さんと一緒に滋賀の未来を築いていきたいと思っています。」メッセージされました。

大阪からの移住された方は水源のすばらしさを語り、いのししに稲穂をきれいさっぱり食べられたけど、来年工夫してがんばると、ここは周りの人が親切で助けてもらっている、鳥の声、鹿の声を聞きながら住んで楽しいところだと  
そして、大津から移住した 5 人家族は「風が見える田舎が好き」と

#### 森 孝之氏：内藤正明氏 対談から

内藤：石油はあと 50 年もたない。2030 年までに石油の消費を半分に減らす必要があり、先祖がえりして昭和 40 年頃にヒントがあるのでとは考えている。

森：エジプト、メソポタミアは木材資源の枯渇で滅びた。太陽、植物、井戸、木を植える昔の人の知恵を今の時代に組み合わせれば良い。

内藤：いいことの裏には副作用がある、車でも技術がよかったのか見直す必要がある。さきほどそこでおばあさんと話したら、昔は近江長岡からここまで歩いたと思いを言っておられました。電気を使わずに冷蔵庫も出来るし水車で発電も出来る、江戸時代の生活を考えたら相当なことができる。

何も動きに気付かずいたら、もう少ししたら人口の半分くらいは淘汰されるという恐ろしい地獄絵になる。気が付いたら何もなくなっていたということに、せめてここで準備を少しずつやっていってさあ一の時に通過できる心づもりが必要

琵琶湖でものをほこぶ航路と船の設計は出来ている。

森：ニュージーランドでは自動車会社なく農業で生きていくと、どっちが幸せか

不真面目な人は都会を好む

今、意識、価値観を変えること、ないものねだりはしないこと

雪の多いところでは雪を楽しむ

置かれた環境を活かして生きること。

## 時事

この宇宙にダークマター（暗黒物質）が存在しその正体はいまだ謎という宇宙を構成するものの8割はこの物質によって覆われているというが、80年前に科学者が気づいたが世界の各地で探し求められているがいまだ不明神岡のXMASSで発見されればまたまたノーベル賞だそうですこの巨大物質「ダークマター」が何なのか、そして何を構成し、何に影響を及ぼしているのか興味深々ではありますが、

## 生物多様性オフセット

企業に生態系保全を促す仕組みの一つとして、10月に名古屋市で開かれる生物多様性条約第10回締結国会議（国連地球生きもの会議）で議題にあがることが判明。これは開発で失われた自然を別の場所の自然保護で埋め合わせる「生物多様性オフセット」の手法が注目されている。

名だたる企業、団体がつくる研究会「ビジネスと生物多様性オフセット計画」（BBOP）に参加する英国企業の一つは南アフリカのプラチナ鉱山拡張事業で生産を倍増させるため、2,200haの山や草原を開発する代わりに8キロ離れた山林約5,400haを保護するという。これはあらかじめ環境や地元に配慮した方が事実上の利益は大きいとの経営判断を働かせたもの。

住民にオフセット計画を提案、住民を保護地域の自然監視員として雇用すること、同社の出資で自然や文化に触れるエコツーリズムの拠点整備をするという。

米国の一部の州やドイツ、豪州では湿地などの保護分と損失分をクレジット（証券）化して売買する取引市場がつけられている。

米国のオフセット市場は9千億円に拡大している。

6月に東北大が中心となってつくった「生物多様性オフセット研究会」には大手企業、メガバンク、NGO、大学、国土交通省の関係者が集まっている。東京都市大学の田中章准教授は「企業にとって生態系の破壊がリスクになり、保全がビジネスになる時代に入った。日本にあう手法の検討が必要」としている

BBOPは近く国際認証の存在になるか

政所夢塾公園は日本ガスケツト(株)にとって立派な生物多様性オフセットにと考えています。

政所夢塾公園は日本ガスケツト(株)にとって立派な生物多様性オフセットにと考えています。

次回は10月18日（月）事前準備 女性：午後、男性：8時から

10月19日（火）全員8時スタンバイでよろしくお願ひします

もしも雨なら社員クラブで里山ワークショップをと考えていますので昼食手配お願ひです

# 大野木グラウンドワークだより

NO47

平成 22 年 9 月 12 日 (日) 晴れ  
9 月 20 日 (日) 晴れ  
9 月 26 日 (日) 晴れ

## 「谿会」の皆さん横山城跡ハイキングコース完成おめでとう



9 月 12 日村居田・臥龍公園へ出陣



大野木グラウンドワークの屋台が村居田でも活躍



## 「9/20」はグラウンドワーク・作業は竹まき大作戦



「暑さ」と「蚊」に悩まされた作業でした。お疲れさん



子ども達もお手伝いに参加



## 9/26・甲津原で「田舎暮らしフェスタ2010」に出展



我がコーナーに嘉田知事の激励を受ける



今月も女性陣が大活躍でした。お疲れさん

田舎の味と魅力を笑顔で販売するスタッフ

次回は中学生の体験学習です。参加よろしく

10月18日前準備8時より

10月19日(日) 全員8時集合だよ